

令和7年度



山形市地域おこし協力隊 活動報告



高安 恭介 隊員

制作会社勤務を経て2012年にフリーランスのイラストレーターとして独立。国内外の出版、広告、カレンダー、パッケージ、学校教科書、Web CMなど幅広くイラストレーションを提供。2020年にはWeb CMのイラストレーションを担当した「Grace of Waste 2019」/ペーター・シュミット・グループがドイツADC銅、レッドドット最優秀賞を受賞。山形の食べ物のおいしさに胃袋をつかまれ、風景の美しさに心を奪われている。移住後の趣味は温泉巡り、カブツーリング。

出身地	「となりのトトロ」の舞台 埼玉県所沢市	担当	移住促進プロモーション	任期	令和5年4月～令和8年3月
前住所	東京都小平市	所属	企画調整課 移住促進係	好きな麺	いっぱいあるけど冷たい鳥中華

隊員になったきっかけ

山形市への移住を考え、オーダーメイド型移住体験ツアーに参加したことがきっかけです。イラストレーションやデザイン、動画制作の実務経験を活かして、移住者の視点で山形市の魅力や暮らしやすさを伝えていきたいと思い、地域おこし協力隊として活動することを決めました。

今年度の活動を終えて

パンフレットのリニューアルやブース装飾、移住者インタビュー動画の制作など、移住促進に関わる取り組みを行いました。自分自身の移住経験から、移住にはわくわくや期待だけでなく、「失敗したらどうしよう」という不安もつきものだと感じています。その不安を少しでも和らげ、背中を押すための安心感とわくわくの両

立を意識して、発信や表現に取り組んだ一年でした。

そして、任期満了のため今年度で地域おこし協力隊を卒業します。

三年間を経て、「住めばきっと好きになる！」という言葉も、自分自身が実感しています。

改めまして、これまで関わってくださったすべての皆さんに、心より感謝申し上げます。

今後について

引き続き、蔵王の麓の古民家で暮らし、フリーランスのイラストレーターとしての活動も続けていく予定です。まずは春になったら、ことしも庭や裏山に山菜を採りに行くのをたのしみにしています。





移住パンフレットは全 24 ページ（表紙、裏表紙含む）、デジタル版はウェブサイトからダウンロード可能。

活動実績 1 広告、パンフレットのデザイン制作

移住パンフレットなどの印刷物をはじめ、首都圏でおこなう移住相談会や移住体験ツアーのバナー・SNS 広告のデザインを 38 点制作。

ただ制作するだけでなく、移住者の視点から「これもあったほうがいい」、「こうしたほうが伝わりやすい」と感じた点は

積極的に提案しました。

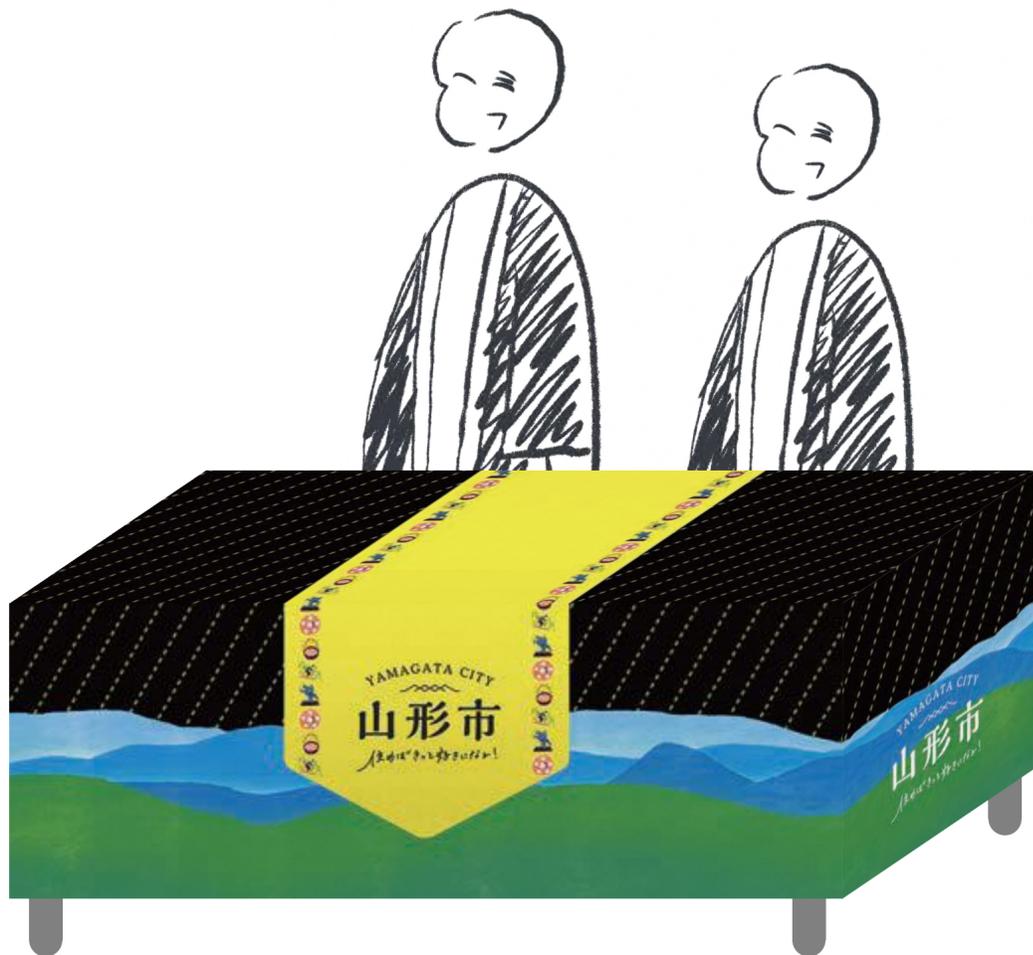
その結果、移住パンフレットには、12 ヶ月ごとの主なイベントや旬の楽しみ方、グルメを紹介する「暮らし歳時記」などを新たに追加。

オーダーメイド型移住体験ツアーは 39 組 77 名が参加しました。



そのほかの広告（一部抜粋） 単独移住相談会は vol.6 で 19 組 24 名、vol.7 で 14 組 24 名を動員しました。





法被、椅子カバー、テーブルクロスは黒い下地で統一。「山形県の一等地」というリッチ感を演出しています。

活動実績 2 イベントブースの装飾品の制作

昨年制作した職員用の法被デザインを活かした椅子カバーと、新たに描き下ろしたテーブルクロスを制作。3年を通して、ブース周りのデザインを段階的にアップデートしました。

今年度は資料配布用のトートバッグの配色を複数用意し、Instagram フォロワー

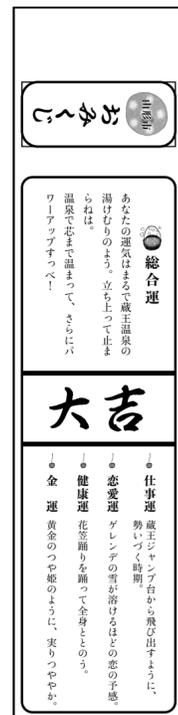
投票でデザインを決定。

また、池袋 AZLM での 1ヶ月間のブース出展にあわせ、レイアウト考案のほか「山形市のおみやげ」「興味を持つきっかけづくり」として「山形市おみくじ」を企画。

想定を超える反響から、期間中は増刷対応を 2 回行いました。



そのほか 左からトートバッグ、池袋 AZLM の実際のブース、山形市おみくじ、大吉のおみくじ





「山形の果実でカクテルを。独立して、地元でバーをひらきました。」本編より

活動実績 **3** プロモーション動画の制作

「移住者インタビュー」シリーズ4本、山形市主催の単独移住相談会でのゲストトーク・ダイジェスト2本を、撮影から編集まで一貫して制作しました。

インタビュー動画では、結婚を機に相手の故郷である山形市へUターンした方、山形市に戻って起業した方、はじめて訪

れた山形市を気に入って、1ターン移住した方など、多様な移住者の声を紹介しています。

制作した動画は、YouTubeチャンネル「【公式】ヤマガタイン～山形市移住～」にて公開中です。



動画一覧 (R7)





ドリンクテ-リングとは
はしご酒イベント。チケットを買って
参加店をまわり、いろんなお店で
ちよとずつ食べたりの食べ歩きで
るスタイル。
食のみビバシ
ながら移動歩き
までと盛り上
が！どろや山
形中発祥らしい！



気になってたけど行ったことのないお店や、ランチでは行かなかったけど夜は行ったことのないお店など、気になっていたお店を巡るのがあります！
新たな発見の連続表！

- 今回行くお店
- ① クラックカフェ (イザヤン) 表町400-2 ビール・アイスビル
 - ② ソノイソノ (レストラン) 山形市山形 山形市山形 山形市山形
 - ③ さほてん (居酒屋) 山形市山形
 - ④ シーロム (タイ料理) 山形市山形
 - ⑤ KGカレー (カレー) 山形市山形



1枚目はキャッチーなビジュアルや気をひくタイトルにし、2枚目以降で内容を紹介しています。

4 SNS による情報発信

Instagram アカウント「ヤマガタシティ・グラフィック 移住者視点メディア」にて、移住者の視点から山形市の暮らしや魅力を発信。

風景や日常のひとコマ、イベント情報などをイラストやグラフィックを交えて紹介し、「観光」ではなく「暮らし」に近い

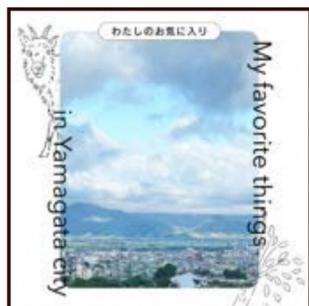
距離感で伝えることを意識しました。

移住を検討している方が、山形市での生活を具体的にイメージできるような発信を心がけています。

令和8年1月末での総投稿数は252、フォロワー数は880人。今年度は投稿54、フォロワーは140人増加しました。



そのほかの投稿 「@yamagatashi_oko」で発信中です。





座談会スタイルで移住体験を共有し、参加者の不安や疑問に答えました。

活動実績 5 移住相談会、移住体験ツアー同行

首都圏でおこなわれる移住相談会では、移住を検討している方に対し「実際に山形市で暮らしている先輩移住者」として体験談を交えながら話すとともに、関心のあることや不安に感じている点を現場で直接感じ取ってきました。また、オーダーメイド型移住体験ツアー

には、広報用の写真撮影を目的として同行。ツアーの様子を記録するだけでなく、参加者と同じ目線で交流することで、先輩移住者の存在が安心感や共感につながっていることを実感しました。



そのほかの写真 撮影した写真はinstagram「ヤマガターン～山形市移住～」で使用。

